



富士フィルム・グリーンファンドは、今年（2019年度）で36年目を迎え、昨年までの助成先は174件となりました。身近な自然を守るために地域に根づいた活動をしてきた方、あるいは環境保全の研究を実際に進めてきた方で、この助成によって大きな進展が望める活動や研究を対象としています。

今年度は8件程度、総額850万円の助成を予定しています。

2019年
富士フィルム・
グリーンファンドに
ご応募ください

締め切りは 2019年5月7日(火)

*応募要項の公開・配布期間は3月からです。応募要項のご請求は3月以降にお願いします。

応募要項をご希望の方は、ハガキまたはファクスに住所・氏名・電話番号・研究あるいは活動助成の別を明記の上、下記宛までご請求ください。また、一般財団法人自然環境研究センターのウェブページ (<http://www.jwrc.or.jp/>) から当該文書をダウンロードすることができます。

2019 年度

富士フィルム・グリーンファンドにご応募ください。



応募資格

1. 活動助成を申請するものは、身近な自然の保全や、自然とのふれあい活動を積極的に行っていること
2. 研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

対象となる活動 / 研究

1. 営利を目的としない活動及び研究
2. 活動及び研究が行われるフィールドは、日本国内であること
3. 活動助成の場合には、活動フィールドができる限り申請者（申請団体）によって既に確保されている等、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの

研究助成の場合には、フィールドでの研究に対し地権者の許可もしくは協力関係が保たれているもの

4. 個人もしくは団体申請において、活動及び研究の実績があるもの（ある程度実績があり、発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる）
5. 個人による申請の場合、助成金の使途が助成の趣旨に沿って適格・厳正であり、助成金の使途において本人あるいは親族等、特別な関係のある者に利益を与えないもの
6. 団体による申請の場合、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他の機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体
7. 科学研究費による研究が好ましいと思われる研究は、助成対象としない
8. 過去に当ファンドの助成を受けた個人・団体は助成対象としない



過去 3 年の助成先

※団体名・所属名等は助成当時のものです

H28

- ・京都府立須知高等学校の「ウィードの森」の生態調査と里山の整備
京都府立須知高等学校 PTA / 京都府
- ・名勝・重要文化的景観「おぼすて（田毎の月）」棚田の保全活動 / 田毎の月棚田保存同好会 / 長野県
- ・はぐくむ、つなげる、つたえる、まもる、谷津田の生きものいのちのにぎわいとつながり
特定非営利活動法人ちば環境情報センター / 千葉県
- ・大淀川の絶滅危惧植物「タコノアシ」の保全活動 / NPO 法人大淀川流域ネットワーク / 宮崎県
- ・ドローンと VR 技術を活用した里山ランドスケープのモニタリング手法の開発
— / 瀬友博（慶應義塾大学） / 神奈川県
- ・GPS 首輪を用いた積雪地域におけるイノシシの行動特性
山本麻希（NPO 法人新潟ワイルドライフリサーチ） / 新潟県
- ・遺伝情報を用いた絶滅危惧植物ヤチシャジンの野生集団の再生
渡邊園子（広島大学大学院） / 広島県
- ・外来アライグマの営巣特性調査と対策コスト削減のための巣箱型ワナの開発
池田透（北海道大学大学院） / 北海道

H29

- ・女川学びの森の整備と利活用促進 / NPO 法人 女川ネイチャーガイド協会 / 宮城県
- ・里山を活かしたこどもの遊び場と大人のコミュニティスペース / 土沢森あそびの会 / 神奈川県
- ・子どもたちによる里山再生プロジェクト
～南アルプスユネスコエコパーク内での獣害につよい畑づくり～
南アルプス子どもの村中学校 / 山梨県
- ・豊田市の中山間地を舞台とした多世代参加型の自然とのふれあい活動
豊田高専DMタウン実行委員会 / 愛知県
- ・東京藝術大学上野キャンパスにおける武蔵野の植生再生と維持の活動
東京藝術大学キャンパスランドデザイン室 / 東京都
- ・ニホンシギメの保全を目的とした生活史の解明 / 小賀野大（東邦大学理学部） / 千葉県
- ・知床国立公園とその周辺におけるヒグマと人の共存の道を探る調査研究
下鶴倫人（北海道大学大学院） / 北海道
- ・石狩海岸における希少アリ類・海浜植物・外来カエル類の相互関係に関する研究
吉田剛司（酪農学園大学） / 北海道

H30

- ・大人も子どもも楽しく安全に自然体験が楽しめるガイアの森づくり
NPO 法人 ガイア自然学校とやま / 富山県
- ・みちのく潮風トレイル利用促進のための歩行データの調査・研究
特定非営利活動法人 みちのくトレイルクラブ / 宮城県
- ・豊北の水と生態系の研究・下関北高協同～粟野川流域図作成を原点に～
北高夢ロード実行委員会 / 山口県
- ・海岸の自然観察を通じてマイクロプラスチックの危険性を学ぶ
特定非営利活動法人 サンクチュアリエヌビーオー / 静岡県
- ・伊豆諸島青ヶ島の絶滅危惧種が生育する噴気孔原群落の保全にむけた基礎研究
上條隆志（筑波大学） / 東京都青ヶ島
- ・天然記念物ミヤコタナゴの再導入等の候補地の探索および生息地の再生手法の検討
鈴木規慈（三重大学大学院生物資源学研究所） / 千葉県
- ・網走市こまば木のひろばにおけるエゾモンガの生態調査
後藤ひとみ（東京農業大学） / 北海道
- ・巨樹・名木とそれを取り巻く地域社会における生態系サービス及び Eco-DRR 機能の定量的評価
宇野宏司（神戸市立工業高等専門学校） / 兵庫県
- ・岩手県の砂浜植生再生活動を通じた環境教育プログラムの開発
島田直明（岩手県立大学） / 岩手県

*写真は平成 30 年度の助成先より

